

アジアにおけるヒト胆道がんの発生・進展に関する遺伝子がん生物学的・分子疫学的研究

研究課題

研究課題/領域番号	21406011
研究種目	基盤研究(B)
配分区分	補助金
応募区分	海外学術
研究分野	寄生虫学(含衛生動物学)
研究機関	長浜バイオ大学
研究代表者	三輪 正直 長浜バイオ大学, バイオサイエンス学部, 教授 (20012750)
研究分担者	正田 純一 筑波大学, 医学医療系, 教授 (90241827)
研究期間 (年度)	2009 - 2012
研究課題ステータス	完了 (2012年度)

サマリー



配分額 *注記

12,870千円 (直接経費: 9,900千円、間接経費: 2,970千円)
2012年度: 2,990千円 (直接経費: 2,300千円、間接経費: 690千円)
2011年度: 3,120千円 (直接経費: 2,400千円、間接経費: 720千円)
2010年度: 3,120千円 (直接経費: 2,400千円、間接経費: 720千円)
2009年度: 3,640千円 (直接経費: 2,800千円、間接経費: 840千円)

キーワード HBV / HCV / MARCKS / タイ国 / タイ王国 / 予後 / 寄生虫感染 / 肝吸虫 / 胆道がん / DNA多型解析 / 遺伝子間多型相互作用 / 遺伝子多型 / 炎症 / 転移

研究概要

タイ王国における胆道がん罹患のリスクは、調べたDNA修復酵素遺伝子、薬剤代謝酵素遺伝子、炎症関連酵素遺伝子多型いずれも単独の場合には有意な関係は認められなかった。しかしながら、DNA修復酵素遺伝子hOGG1Ser326Cys多型と薬剤代謝酵素遺伝子GSTM1多型間には、胆道がん罹患リスクに関して有意な交互作用が認められた。また、薬剤代謝酵素遺伝子のCYP2E1c1/c2+c2/c2型とGSTT1多型間にも有意な交互作用が認められた。